

<p>戦略目標A. 生物多様性を主流化し、生物多様性の損失の根本原因に対処</p>	<p>戦略目標C. 生態系、種及び遺伝子の多様性を守り生物多様性の状況を改善</p>
<p>目標1：生物多様性の価値と行動の認識            目標2：生物多様性の価値を国・地方の戦略及び計画プロセスに統合            目標3：有害な補助金の廃止・改革、正の奨励措置の策定・適用            目標4：持続可能な生産・消費計画の実施</p>	<p>目標11：陸域の17%、海域の10%を保護地域等により保全            目標12：絶滅危惧種の絶滅が防止            目標13：作物・家畜の遺伝子の多様性の維持・損失の最小化</p>
<p>戦略目標B. 直接的な圧力の減少、持続可能な利用の促進</p>	<p>戦略目標D. 生物多様性及び生態系サービスからの恩恵の強化</p>
<p>目標5：森林を含む自然生息地の損失を半減→ゼロへ、劣化・分断を顕著に減少            目標6：水産資源の持続的な漁獲            目標7：農業・養殖業・林業が持続可能に管理            目標8：汚染を有害でない水準へ</p>	<p>目標14：自然の恵みの提供・回復・保全            目標15：劣化した生態系の15%以上の回復を通じ気候変動緩和・適応に貢献            目標16：ABSに関する名古屋議定書の施行・運用</p>
<p>目標9：侵略的外来種の制御・根絶            目標10：脆弱な生態系への悪影響の最小化</p>	<p>戦略目標E. 参加型計画立案、知識管理と能力開発を通じて実施を強化</p>
	<p>目標17：国家戦略の策定・実施            目標18：伝統的知識の尊重・統合            目標19：関連知識・科学技術の向上            目標20：資金を顕著に増加</p>

図1：愛知目標と達成状況：部分的に達成した目標：6（黄色囲み）、未達成の目標：14（赤囲み）